

1 育成を目指す資質・能力

話すこと[やり取り]

ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。

2 領域「話すこと [やり取り]」で貫く外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方

話すこと[やり取り]

聞いたり読んだりしたことを共通の話題とし、やり取りを展開していく中で、お互いに意見を出し合ったり、情報の交換をしたりしながら、話題に関する理解を深め、意見をまとめたり、合意できる部分やできない部分を整理し、その理由を述べ合ったりする。

3 領域「話すこと [やり取り] ウ」における資質・能力の系統

	小学校第1学年 及び第2学年 外国語活動	小学校第3学年 及び第4学年 英語	小学校第5学年 及び第6学年 英語	中学校 外国語	高等学校 外国語
話すこと[やり取り]	サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようになる。	サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりできるようにする。	自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができるようになる。	社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようになる。	社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して詳しく伝え合うことができるようになる。

4 単元目標・生徒の実態と指導観

<p>Program 2, "Good Night. Sleep Tight.", Sunshine English Course 3</p> <p>友達の意見等を踏まえた自分の考えをまとめるために、「日常生活が健康に与える影響」などの英文を聞いたり、読んだりして、それを基に考えたことや感じたことを、英文を引用したり内容に言及したりしながら述べ合うことができるようにする。</p>	<p>本学級のほとんどの生徒は、小学校1年生から外国語活動に取り組んでいる日章小・大湊小から入学している。(R4年度からは特認校となっている。) 中学校への入学後も、小中の系統性を踏まえた指導を大切にしながら言語活動を行ってきた。特に「話すこと [やり取り]」においては、中学校1年生では、「テーマについて、即興で伝え合うこと」、「話を続けようとすること」に重点を置いて取り組んできた。2年生では、「事実や自分の考え、気持ちなどを整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりすること」について取り組み、質問する力や質問に答えたりする力を育成してきた。また3年生では、これまでに、自分の考えを理由とともに述べる力の育成に努めてきたが、やり取りをする中で、相手意識を持って相手の発話に応じたり、相手の発話に関連した質問をしたりする力に課題が見られるため、今後は、相手の発話に即座に応じる力やそれに関連した質問や意見を述べる力を育成していきたい。</p> <p>本単元では、社会的な話題についての英文を聞いたり読んだりし、それに対する自分の考えや感じたことを述べ合う活動を通して、お互いに質問したり、考えや感想、理由などを交換する力を育成することを目標としている。単元の前半は、「睡眠が生活に与える影響」というテーマで書かれた教科書の対話や記事を活用し、後半は、共通の話題となる英文を興味深いものとするために、ALTに「日常生活の悩みについてアドバイスする」という目的・場面・状況を設定した。それらを活用して、生徒がお互いに質問し合い、応答し合いながら、ペアやグループ等において多様な考え方や立場を共有する活動を行いたい。そして、単元全体を通して「日常生活が健康に及ぼす影響」という広い見方で考えることにより、生徒自身が自らの日常生活全体を振り返りながらアドバイスできるようにしたい。指導にあたっては、意見を形成する段階で、生徒が発話した語句や文を取り上げてリキャストして例示したり、相手により詳しい説明を求める表現を考える場面を設けたり、引用表現など、相手に分かりやすく伝えるための表現に気づかせたりしながら、生徒の実態に応じてスモールステップで、生徒の考えを生かしていきたい。また、ルーブリックの観点を単元途中でも示すことで、生徒自身が、できている部分とそうでない部分に気づいたり、やり取りしている姿を動画で撮影してクラウドに保存し、必要な時に見られるようにすることで、他者の良い点を自分の発話に生かしたり、今までの学びや成長を実感できるようにしたい。</p> <p>これまでに生徒たちは、2年時に現在完了形を、3年では ask/tell/want 人 to ~、It is ~ for 人 to ~、I'm glad/afraid/sure/surprised that ~、[主語+動詞+目的語+補語]の第5文型「~を…(の状態)にする」や、使役動詞[主語+動詞+目的語+動詞の原形]「~が…するのを許す、~に…させてやる/させる、~が…するのを手伝う」などの表現を学習している。本単元で学習する「動詞+疑問詞節」「tell+人+疑問詞節」は、知っていることや知らないことを述べる場面やALTに関してたずねる場面で、「tell+人+that 節」は、身近な人が述べたことを引用したり、日頃述べていることに言及したりする場面で使わせたい。そうすることで、コミュニケーションを行う目的・場面・状況に合わせて、これまで学習した中から適切な言語材料を活用し、思考・判断して情報を整理するとともに、他の人と意見を述べ合いながら自分の考えなどを形成、再構築する力を養いたい。</p>
--	---

5 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [やり取り]	<p>[知識]</p> <p>・「主語+動詞 (+人) +疑問詞節」や「tell/show +人+that~」の特徴やきまり、引用するための表現を理解している。</p> <p>[技能]</p> <p>・日常生活が健康に与える影響などについて考えたことや感じたことなどを、本単元の新出表現や既習の表現などを用いて伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>友達の意見等を踏まえた自分の考えをまとめるために、日常生活が健康に与える影響などの英文を聞いたり、読んだりして、それを基に考えたことや感じたことを、英文を引用したり内容に言及したりしながら述べ合っている。</p>	<p>友達の意見等を踏まえた自分の考えをまとめるために、日常生活が健康に与える影響などの英文を聞いたり、読んだりして、それを基に考えたことや感じたことを、英文を引用したり内容に言及したりしながら述べ合おうとしている。</p>

6 単元計画

	言語活動	学習内容 ■単位時間内のめあて	評価規準 形…形成的評価 目指したい生徒のゴールの姿	見方・考え方を働かせている 生徒の姿 引き出したい振り返りの具体
1	「How much sleep we need」について読み、引用するなどしながら考えたことや感じたことを述べ合う。	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 動画を見て、本単元の見直しを持つ ■ 「How much sleep we need」(教科書 P22)について読み、引用するなどしながら考えたことや感じたことを述べ合う。 ①Small talk (絵を見て感じたことについて述べ合う) ②Reading (教科書の対話文を読む) [睡眠と健康の関係・日本人の睡眠時間・必要な睡眠時間] ③Speaking1 (読み取れた内容や感じたことなどをペアで述べ合う) ④Learning (対話文で使われている未知の語や「動詞+疑問詞節」の構造と意味を理解する) ⑤Speaking2 (読み取れた内容に関する自分の考えや感じたことなどを別のペアで述べ合う) ⑥Sharing (再構築の場面で英文を引用するための表現を学ぶ) ⑦Speaking3 (再度、対話文の内容に関して、引用しながら考えや感想などを別のペアで述べ合う [録画]) ○振り返り 	<p>1時間目から9時間目まで記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確認に見届けて指導に生かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけにならないように十分留意する。</p> <p>形対話文について読み取れた内容や疑問点、自分の考えなどを述べ合っている。</p> <p>A: Do you remember what Ken said? B: He said that he slept only four hours last night. A: What do you think? B: I think four hours is too short. A: How many hours do you sleep? B: I sleep six hours. How about you? A: I sleep seven hours. Is six hours enough? B: No. I need more but many doctors say we need six hours, right?</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたい内容について適切な言語材料を使って表現しようとしている。 ・ALTの悩みにアドバイスできるようにしたい。 ・「Do you remember 疑問詞節？」を使ってたずね合うことができた。 ・対話文の内容について、自分の考えを伝えたり、相手の考えをたずねたりすることができた。
2	「How much sleep we need」について読み、引用するなどしながら考えたことや感じたことを述べ合う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の振り返りより ・どんな点に気を付けて会話をすればよいのか確認する (録画活用) ■ 「How much sleep we need」(教科書 P22)について再度読み、引用するなどしながら考えたことや感じたことを述べ合う。 ①Review (「動詞+疑問詞節」を含む対話文を聞いたり、読んだりして、構造と意味を再確認する) ②Reading (教科書の対話文を読む) ③Speaking1 (各国の平均睡眠時間を示したグラフを見て読み取れたことや感じたことなどをペアで述べ合う) ③Sharing (再構築の場面で英文を引用するための表現を学ぶ) ④Speaking2 (再度、対話文の内容に関して、引用しながら考えや感想などを別のペアで述べ合う) ⑤Writing (ペアで話した内容を踏まえ自分の考え等を書く。クラウドを活用して他者の書いている内容を参考にしながら書く) ○振り返り 	<p>形対話文やグラフが表している内容や疑問点、自分の考えなどを述べ合っている。</p> <p>A: Do you remember how many hours Ken slept last night? B: Four hours. Do you remember how many hours we need? A: We need six hours. B: According to the graph, Japanese people sleep the shortest. A: Yes. I know. The people in South Africa and China sleep longer. Nine hours. B: Yes! I can't sleep as long as them. Why can they sleep long? A: I don't know. How long does Dec-sensei sleep? Let's ask him.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたい内容について適切な言語材料を使って表現しようとしている。 ・「Do you remember 疑問詞節？」を使ってたずね合うことができた。 ・「According to ~」を使ってグラフから分かることを言うことができた。 ・対話文の内容について、自分の考えを伝えたり、相手の考えをたずねたりすることができた。
3	「Quality of a sleep」について読み、引用するなどしながら考えたことや感じたことを述べ合う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の振り返りより ・どんな点に気を付けて会話すればよいのか確認する ■ 「Quality of a sleep」(教科書 P23)について読み、引用するなどしながら考えたことや感じたことを述べ合う。 ①Review (「動詞+疑問詞節」を含む対話文を聞いたり、読んだりして、構造と意味を再確認する) ②Small talk (絵を見て感じたことについて述べ合う) ③Reading (教科書の対話文を読む) [睡眠と健康の関係・良い睡眠とは?・入浴と睡眠の関係] ④Speaking1 (読み取れた内容や感じたことなどをペアで述べ合う) ⑤Learning (対話文で使われている未知の語や「tell+人+疑問詞節」の構造と意味を理解する) ⑥~⑧は第1時の⑤~⑦と同じ ○振り返り 	<p>形対話文について読み取れた内容や疑問点、自分の考えなどを述べ合っている。</p> <p>A: Can you tell me how long you sleep every day? B: I sleep about seven hours. A: Do you think you still feel tired? B: Yes. Every day! A: You need a good sleep. B: Can you tell me what I should do? A: OK. Ms. Miller told us when we should take a bath. B: Right. We should take a bath 90 minutes before going to bed, right? A: When do you take a bath every day? B: Umm... Before dinner. I want to take a bath right after going back home.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたい内容について適切な言語材料を使って表現しようとしている。 ・「Can you tell me 疑問詞節？」を使って、質問したり、答えたりすることができた。 ・対話文の内容について、自分の考えを伝えたり、相手の考えをたずねたりすることができた。
4	「A good habit for a good sleep」について読み、引用するなどしながら考えたことや感じたことを述べ合う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の振り返りより ・どんな点に気を付けて会話すればよいのか確認する (録画活用) ■ 「A good habit for a good sleep」(教科書 P24)について読み、引用するなどしながら考えたことや感じたことを述べ合う。 ①Review (「tell+人+疑問詞節」を含む対話文を聞いたり、読んだりして、構造と意味を再確認する) ②Small talk (絵や写真を見て感じたことを述べ合う) ③Reading (教科書の対話文を読む) [スマートフォンの使用時間・睡眠に与える影響・会社の取組] ④Speaking1 (読み取れた内容や感じたことなどをペアで述べ合う) ⑤Learning (対話文で使われている未知の語や「tell+人+that 節」の構造と意味を理解する) ⑥Speaking2 (読み取れた内容に関する自分の考えや感じたことなどを別のペアで述べ合う) ⑦Sharing (再構築の場面で英文を引用するための表現を学ぶ) ⑧Writing (ペアで話した内容を踏まえ自分の考え等を書く。クラウドを活用して他者の書いている内容を参考にしながら書く) ○振り返り 	<p>形記事について読み取れた内容や疑問点、自分の考えなどを述べ合っている。</p> <p>A: Do you remember what the article says? B: Yes. We should not use our smartphones for a long time before going to bed. A: Do you remember why? B: No, I don't. Do you? A: The article told us that if we look at the bright screen at night, our brain will believe it is daytime. B: Right! That's a bad habit. Do you use your smartphone before going to bed? A: Yes. B: How long? A: About 30 minutes. How about you? B: I just check the mail. So 5 minutes. A: That's good.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたい内容について適切な言語材料を使って表現しようとしている。 ・「~told us that 節」を使って、人が話したことを言うことができた。 ・記事の内容について、自分の考えを伝えたり、相手の考えをたずねたりすることができた。 ・引用する表現を使うと、わかりやすく伝わったと思った。
5	「睡眠についての悩み(仮)」について読み、引用するなどしながら考えたことや感じたことを述べ合う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の振り返りより ・どんな点に気を付けて会話すればよいのか確認する ■ あるALTの「睡眠についての悩み(仮)」についてのビデオレターを聞き、引用するなどしながら考えたことや感じたことを述べ合う。(動画をクラウド上に保存⇒自身のタイミングで視聴) ①Listening (ビデオレターを聞く) ②Thinking (Reading) (メモし、クラウドで共有する) ③Speaking1 (内容に関する自分の考えや感じたことなどをペアで述べ合う) ④Sharing1 (再構築の場面で英文を引用するための表現を学ぶ) ⑤Speaking2 (再度、対話文の内容に関して、引用しながら考えや感想などを別のペアで述べ合う [録画]) ⑥Sharing2 (録画した発話から、学びを共有する) ⑦Speaking3 (再度、対話文の内容に関して、引用しながら考えや感想などを別のペアで述べ合う) ○振り返り 	<p>形聞いたり読んだりした内容について、引用したり、内容に言及したりしながら自分の考えを述べ合っている。</p> <p>A: Emiko can't sleep well. What do you think? B: We learned that sleep is very important for our health. A: Yes. Do you remember how many hours we need to sleep? B: At least six hours a day, right? A: Right. She told us that she would take a bath just before going to bed. B: Ms. Miller said that we should take a bath 90 minutes before going to bed to have a good sleep. A: Oh, I've just remembered that. B: Also it is not good to use smartphones just before going to bed. A: Right. Does she use her smartphone before sleeping? B: I don't know. Let's look at her daily life.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に意見をたずねたり、疑問点を確認したりしている。 ・教科書で学んだ情報を友達と出しながら考えることができた。 ・相手に合っているアドバイスになるように、相手の情報を考えることが大事だと思った。

6 (本時)	「食事についての悩み(仮)」について読み、引用するなどしながら考えたこと感じたことなどを述べ合う。	<p>○ 前時の振り返りより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな点に気を付けて会話すればよいのか確認する (録画活用) ■あるALTの「食事についての悩み(仮)」についてのビデオレターを聞き、引用するなどしながら考えたこと感じたことなどを述べ合う。(動画をクラウド上に保存⇒自身のタイミングで視聴) <p>①Listening (ビデオレターを聞く)</p> <p>②Thinking(Reading) (メモし、クラウドで共有する)</p> <p>③Speaking1 (内容に関する自分の考えや感じたことなどをペアで述べ合う)</p> <p>④Sharing (再構築の場面で英文を引用するための表現を学ぶ)</p> <p>⑤Speaking2 (再度、対話文の内容に関して、引用しながら考えや感想などを別のペアで述べ合う [録画])</p> <p>⑥Writing (ペアで話した内容を踏まえ自分の考え等を書く。クラウドを活用して他者の書いている内容を参考にしながら書く)</p> <p>○振り返り</p>	<p>形 聞いたり読んだりした内容について、引用したり、内容に言及したりしながら自分の考えを述べ合っている。</p> <p>A: Let's share what problem Emily has.</p> <p>B:</p> <p>A: Do you have any advice for her?</p> <p>B:</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>B: That's right. Let's tell her these ideas.</p>	<p>・自分の考えを、理由を含めて述べている。</p> <div data-bbox="1612 181 1948 477" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>当日の演習のため、空欄にしている箇所があります。</p> </div>						
7	「日頃の身体の疲れ(仮)」について読み、引用するなどしながら考えたこと感じたことなどを述べ合う。	<p>○ 前時の振り返りより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな点に気を付けて会話すればよいのか確認する (録画活用) ■あるALTの「身体の痛みについての悩み(仮)」についてのビデオレターを聞き、引用するなどしながら考えたこと感じたことなどを述べ合う。(動画をクラウド上に保存⇒自身のタイミングで視聴) <p>①Listening (ビデオレターを聞く)</p> <p>②Thinking (Reading) (メモし、クラウドで共有する)</p> <p>③Speaking1 (内容に関する自分の考えや感じたことなどをペアで述べ合う)</p> <p>④Sharing1 (再構築の場面で英文を引用するための表現を学ぶ)</p> <p>⑤Speaking2 (再度、対話文の内容に関して、引用しながら考えや感想などを別のペアで述べ合う [録画])</p> <p>⑥Sharing2 (録画した発話から学び、学びを共有する)</p> <p>⑦Speaking3 (再度、対話文の内容に関して、引用しながら考えや感想などを別のペアで述べ合う)</p> <p>○振り返り</p>	<p>形 聞いたり読んだりした内容について、引用したり、内容に言及したりしながら自分の考えを述べ合っている。</p> <div data-bbox="1102 691 1591 1139" style="border: 1px solid black; height: 150px;"></div>	<p>・相手の意見についてさらに詳しくたずねている。</p> <div data-bbox="1612 691 1948 1032" style="border: 1px solid black; height: 115px;"></div>						
8	「ストレスについての悩み(仮)」について読み、引用するなどしながら考えたこと感じたことなどを述べ合う。	<p>○ 前時の振り返りより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな点に気を付けて会話すればよいのか確認する (録画活用) ■ALTの「ストレスについての悩み(仮)」についてのビデオレターを聞き、引用するなどしながら考えたことや感じたことなどを述べ合う。(動画をクラウド上に保存⇒自身のタイミングで視聴) <p>①Listening (ビデオレターを聞く)</p> <p>②Thinking(Reading) (メモし、クラウドで共有する)</p> <p>③Speaking1 (内容に関する自分の考えや感じたことなどをペアで述べ合う)</p> <p>④Sharing (再構築の場面で英文を引用するための表現を学ぶ)</p> <p>⑤Speaking2 (再度、対話文の内容に関して、引用しながら考えや感想などを別のペアで述べ合う [録画])</p> <p>⑥Writing (ペアで話した内容を踏まえ自分の考え等を書く。クラウドを活用して他者の書いている内容を参考にしながら書く)</p> <p>○振り返り</p>	<p>形 聞いたり読んだりした内容について、引用したり、内容に言及したりしながら自分の考えを述べ合っている。</p> <div data-bbox="1102 1285 1591 1665" style="border: 1px solid black; height: 128px;"></div>	<p>・友達が言っていたことを参考にして、さらにより良い考えを考えている。</p> <div data-bbox="1612 1285 1948 1531" style="border: 1px solid black; height: 83px;"></div>						
9	ビデオレターの内容に関する自分の考えやALTへのアドバイスなどを述べ合う。 ↓ 自分の考えやアドバイスを書く。	<p>○ 前時の振り返りより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな点に気を付けて会話すればよいのか確認する ■「ALTの悩み」に関するビデオレターの内容について、引用するなどしながら考えたことや感じたことなどを述べ合う。(動画をクラウド上に保存⇒自身のタイミングで視聴) <p>①Thinking(Reading) (ALTへのアドバイスについてメモし、クラウドで共有する)</p> <p>②Listening (録画した会話を聞く)</p> <p>③Speaking (ビデオレターの内容を引用するなどしながら考えたことや感じたことなどを述べ合う)</p> <p>④Writing1 (自分の考えやアドバイスを書く)</p> <p>⑤Sharing (再構築の場面でわかりやすい英文にするための工夫や構成を学ぶ)</p> <p>⑥Writing2 (学んだことなどを基に、再度書く)</p> <p>○振り返り</p>	<p>形 聞いたり読んだりした内容について、引用したり、内容に言及したりしながら自分の考えを述べ合っている。</p> <div data-bbox="1102 1804 1591 2267" style="border: 1px solid black; height: 156px;"></div>	<p>・他の人のアドバイスを参考にしながら様々な言い方を使って述べ合っている。</p> <div data-bbox="1612 1804 1948 2228" style="border: 1px solid black; height: 143px;"></div>						
後日	パフォーマンステスト	初見の英文を聞いて(読んで)、引用するなどしながら考えたことや感じたことなどをALTと述べ合う。	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>知技</td> <td>思判表</td> <td>態度</td> </tr> <tr> <td>話すこと(やり取り)</td> <td>話すこと(やり取り)</td> <td>話すこと(やり取り)</td> </tr> </table>	知技	思判表	態度	話すこと(やり取り)	話すこと(やり取り)	話すこと(やり取り)	
知技	思判表	態度								
話すこと(やり取り)	話すこと(やり取り)	話すこと(やり取り)								

7 本時の指導 (6 / 9 時間)

※ 当日の演習のため、空欄にしている箇所があります。

(1) 本時の目標

友達の意見等を踏まえた自分の考えや感想をまとめるために、「食事についての悩み (仮)」 についてのビデオレターを視聴し、引用したり内容に言及したりしながら考えたこと感じたことなどを述べ合うことができる。

(2) 本時の評価規準 (形)

友達の意見等を踏まえた自分の考えや感想をまとめるために、「食事についての悩み (仮)」 についてのビデオレターを視聴し、引用したり内容に言及したりしながら考えたこと感じたことなどを伝え合っている。 ※本時では記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。

(3) 展開

	学習活動	指導上の留意事項 ●T1 ○ALT	評価規準 ・見方・考え方を働かせている生徒の姿
導入 6分	1 1-min Chat (3分) Today's Topic: Breakfast	●○自然に生徒同士が会話できるように JTE と ALT で会話をしながら導入する。 A: Do you have breakfast every morning? B: Yes. I usually eat bread and soup for breakfast. How about you? A: I eat brown rice with tsukemono. B: Really? Tsukemono? Do you buy it at a supermarket? A: No. I	
	2 前時の振り返りから、めざす姿を再確認する (内容面・言語面) (3分)	●ICT を活用し、前時の振り返りから内容面・言語面でフォーカスしたいところに注目させる。 <予想される前時の生徒の振り返り> ・教科書で学んだ情報を友達と思い出しながら考えることができた。<既習内容の活用> ・相手に意見をたずねることができた。<やり取り> ・次に意見を言う時は根拠を示して言いたい。<理由・根拠> ・引用する表現を使うと、わかりやすく伝わったと思った。<引用表現> ・相手に合っているアドバイスになるように、相手の情報を考えることが大事だと思った。<相手意識>	
展開 40分	3 Small Talk by ALT (4分) ・ALT の悩みと、悩みを持つ友人について聞く。	○問題提起をする。 (ALT が過去の自分の小さな困りごとについて話す。次に、友人の困りごとについてアドバイスをしてくれないかと依頼する。) JTE: Dec-sensei, you have been in Japan for two years, right? Did you have any troubles before? ALT: Well, when I came to Japan for the first time, I was ... But one of my Japanese friends told me that ... So I did it. Then ... By the way, I have a friend called ... and he Can you give him some advice? ●ALT の話した概要のみ確認する。 ・ALT 自身の困っていたこと ・ALT のお願い ●前時の振り返りからめあてを確認するとともに、再度、前時の振り返りから目指す姿を確認する。 悩んでいるデック先生の友人にアドバイスをするために、友達と意見交換をしよう。	
	★めあてを確認する (1分) 4 今日の課題 (言語活動) ○ALT の友人のビデオレターを視聴して自分の考えを伝え合う。 (1) Activity 1 Listening (5分) What's her problem? What do you think about her opinion? Please listen to them. ・ペアで ALT が話したことについて確認し合う。 ・友人のビデオレターを視聴する。 Hi, Konan JHS students. I am Deck and I have been good friends since last summer in <i>Nankoku</i> . I have a trouble now. Please listen to me.(trouble)..... If you don't mind, please let me know your opinions and some advice. Thank you for listening. ○ALT が生徒に指示を出す。 ALT のセリフ ・ペアで友人のビデオレターの内容について確認し合う。 ・分かったことを全体で共有する。 (2) Activity 2 Thinking (& Reading) (5分) ●○支援の必要な生徒には、机間指導の中で支援をし、悩みをシェアさせる。 ●ビデオレターの概要と要点について全体でシェアする。 ・誰が ・場所 ・いつ ・依頼内容 ○キーワードを板書する。 ●生徒の様子を見ながら指示を出す。 ●○活動のイメージを持たせるため、質問の例を挙げ、応答例を見せる。 You know her problem. And you know her opinion too. Now what do you think about her opinion? Please have your own opinion about her opinion and think about some advice for her. And then later share your ideas in pairs. If you have any questions about her, you can look at her self-introduction. You may understand her situation or her daily life. ・自分の意見や疑問点を準備する。 ・必要に応じてスクリプトを黙読したり、メモしたりする。 ・内容引用に活用するために、友人のビデオレターのスクリプトとメモ用紙を配布する。 ・支援の必要な生徒には「お助けシート」を準備する。		

	<p>(3) Activity 3 Speaking 1 (3分)</p> <p style="text-align: center;">Now let's share your ideas and some advice for her in pairs.</p> <p>・ペアで思ったことや感じたこと、疑問点を伝え合う。(必要に応じてメモする)</p> <p>中間指導 1 Sharing (5分) ○代表ペアの生徒が発表をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>代表ペアのやり取り A: B:</p> </div> <p>・代表生徒の良いところを伝え合う。</p> <p>・(疑問点がある生徒はALTに質問する)</p> <p>・内容や「言いたかったのに言えなかった表現」を確認する。(ペア⇒全体)</p> <p>・意見を再構築する(2分)</p> <p>(4) Activity 4 Speaking 2 (3分)</p> <p style="text-align: center;">What do you think about her opinion? Why? What advice can you give her?</p> <p>・ペアで伝え合う。会話を録画する。</p> <p>中間指導 2 Sharing 2 (5分) ○代表ペアの生徒が発表をする。 ・生徒の意見を全体でシェアする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>代表ペアのやり取り A: Let's share what problem Emily has. B: A: B: ・ ・ ・ B: That's right. Let's tell her these ideas.</p> <p style="text-align: right;">Do you have any advice for her?</p> </div> <p>・言いたかったけど言えなかった表現を共有する。</p> <p>(5) Activity 5 Writing (5分) ・話したことをもとに、アドバイスを書く。</p> <p style="text-align: center;">Thank you for your video letter.</p> <p style="text-align: right;">Please try it.</p>	<p>○ペアで考えを伝え合うように指示を出す。</p> <p>●○支援が必要な生徒には、机間支援の中で、早めに支援をする。</p> <p>●代表のペアの生徒に会話してもらうよう、依頼する。</p> <p>●内容面の良いところに触れる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>視点</p> <p>○(ALTは、答えられる内容の質問に答える)</p> <p>●質問した生徒の「相手意識」について考えている良さに触れる。</p> <p>●○「わからなかった表現」は全体で考えるよう、支援する。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <予想される生徒の発言> ・最初、どのように始めたらいいかわからない。⇒「悩みを確認しよう」で始める。 ・食欲がない ⇒ I'm not hungry. ・体を動かすと良い ⇒ It is good to exercise. </p> <p>●引用表現を復習する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>引用表現 ・According to her message, …… ・Her message told us that……. ・She says, “ …….” ・She said that …….</p> </div> <p>●Speaking 2では、視点明確にして意見を述べるように指導する。</p> </div> <p>●○支援が必要な生徒には、机間指導の中で、早めに支援をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px 0;"> <p>再構築を促すための共有</p> </div> <p>●見取ったよい表現を紹介する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>視点</p> </div> <p>●書き出しと最後は全体で確認をして、板書する。</p>	<p>「食事についての悩み(仮)」についてのビデオレターを聞き、引用したり内容に言及したりしながら考えたこと感じたことなどを述べ合っている。</p>
<p>振り返り4分</p>	<p>5 コメント</p> <p>6 振り返り ・本時の評価規準を基に振り返る。</p> <p>7 次時の予告</p>	<p>●会話の内容のふくらみや、意欲的に話し続けようとする態度を中心に肯定的に評価する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>①めあてに対してできるようになったことは? ②なぜできるようになったのか? ③次に挑戦したいと思うことは?</p> </div> <p>●次の内容、家庭学習について伝える。 ・次時も「ALTの悩み」についての解決策をみんなで考えることを伝える。</p>	<p>引き出したい振り返り</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>